

モン・スポ平成 29 年度活動方針

1、国際連携事業とスポーツ振興

▽「アジアスポーツフェスタ 2017」(UNHCR、横浜市、大和市等の協力) 10 月 29 日(日)、神奈川県立横浜国際高等学校。

▽日本スポーツ振興センターの処分中ではあるが、発展途上国のスポーツ支援(人材、用具、衣類など)を行うスポーツ・フォー・トゥモローの要請があれば、積極的に協力する。

1、助成金事業

▽「キッズバレーボール教室」子ども夢基金(国立青少年教育振興機構)の助成を受け、日本バレーボール協会の後援で今年度も 3 回実施。

1、スポンサー事業

▽JA 全農ミートフーズ協賛「ちびっ子バレーボール教室&食育講座」7 月 22 日(土)、三郷市総合体育館。

▽「女性スポーツ勉強会」東京 2 回を含め目標年 3 回開催。

・第 9 回、6 月 3 日(土)午後 1 時~同 5 時、渋谷・東京ウイメンズプラザ。

特別協賛・日本水産㈱

・第 10 回、10 月 14 日(土)、午後 1 時~同 5 時、金沢市の石川県女性センター。

特別協賛・

・第 11 回(未定)

⑩2018 年 2 月には冬季五輪の開催もあり、今年度は 2 回どまりの可能性大。

1、バレーボール教室

▽「一流に学ぶ! バレーボール教室」館山市教育委員会主催、11 月中旬(未定)

▽「バレーボール教室&シンポジウム」南千住 SC と交渉中。

1、PR、支援活動

▽東日本地震、熊本地震などの災害被災地は、今もって支援を求めている。声がかかれば対応できるよう心の準備をしておく。

▽2020 年東京オリ・パラ大会へ向け、障害者スポーツへのバックアップを心掛ける。バレーボール関係ではシテイングバレーボール、デフバレーボール(パラの競技外)がある。

▽個々の活動の中で、意識的に「モン・スポ」を口にするよう努める。

1、NPO 法人日本バレーボール・オリンピックの会 (VOJ) との連携

日本協会 (JVA) の要望もあって、一つのデスクをモン・スポ、VOJ で使用(家賃折半)することになった。木村会長は組織統一を強く望んでいるが、組織形態、活動内容から現状では難しい。これまで通り協力関係を維持する。奥本は引き続き個人の意

思で VOJ 事務局のお手伝いをする。

1、組織強化

▽設立から 12 年目。金メダリストを含め当初のメンバーは高齢化している。体も動かなくなって消極的になりがちだが、可能な限り活動に参加(顔を出すだけでも)することで元気を持ち続けてもらいたい。特にメダリストの頑張りは会員への影響大。

▽総合型地域 SC の女性マネジャーの皆さんには、モン・スポの一員として活動している人を含め、引き続き女性スポーツ勉強会などへ協力を切に望む。

▽メンバー（取り分け賛助会員）を増やすことは必要だが、現会員を含め諸活動に参加する人を増やすことも重要ではないか。

1、財政問題

▽年会費の徴収

未納者をゼロにするよう、会員間の連携を強める。

▽スポンサー確保

PR 活動とも連携することだが、ネットワークを駆使して協賛団体・個人を募ってほしい。

以上